

初の計画停電

静岡・茨城・山梨・千葉で

東京電力は14日午後、東日本大震災で発電所の停止が相次いだことから、「計画停電」（輪番停電）を実施した。夕方の照明器具の点灯時間にあわせて電力需要が増え、供給能力（3300万キロワット）を超える見込みとなったため。東電が計画停電を実施するのは1951年の設立以来初めて。

計画停電に踏み切ったのは静岡、茨城、山梨、千葉各県内のうち、「第5グループ」に色分けされた地区の一部。午後5時から停電となった。

東電は13日の段階で、午前6時20分から午後10時の間に、5グループを順番に停電地域とすると発表していた。

しかし、JR各線や私鉄が大幅に運行本数を減らす間引き運転や区間運休を実施。関東地方の気温が比較的高く、暖房需要が比較的少なく済んだことから、限られた地域、限られた時間での停電で済んだ。